

平成23年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日
上場取引所 大福

上場会社名 コーアツ工業株式会社
コード番号 1743 URL <http://www.koatsuind.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
定時株主総会開催予定日 平成23年12月22日
有価証券報告書提出予定日 平成23年12月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 白石 純孝
(氏名) 遠矢 幸一
配当支払開始予定日

TEL 099-229-8181
平成23年12月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年9月期 | 6,630 | △29.6 | 209 | 456.0 | 216 | — | 197 | — |
| 22年9月期 | 9,412 | △21.3 | 37 | △85.2 | 11 | △95.2 | △1,292 | — |

(注) 包括利益 23年9月期 201百万円 (—%) 22年9月期 △1,298百万円 (—%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 23年9月期 | 26.02 | — | 3.4 | 2.0 | 3.2 |
| 22年9月期 | △170.18 | — | △20.1 | 0.1 | 0.4 |

(参考) 持分法投資損益 23年9月期 一百万円 22年9月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年9月期 | 10,090 | 5,917 | 58.6 | 779.68 |
| 22年9月期 | 11,012 | 5,754 | 52.3 | 757.95 |

(参考) 自己資本 23年9月期 5,917百万円 22年9月期 5,754百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 23年9月期 | 470 | 1,026 | △809 | 858 |
| 22年9月期 | △47 | 149 | △225 | 171 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 22年9月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | 37 | — | 0.6 |
| 23年9月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | 37 | 19.2 | 0.6 |
| 24年9月期(予想) | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | | 41.3 | |

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,926 | 2.0 | 231 | △19.7 | 215 | △25.5 | 210 | △59.4 | 27.74 |
| 通期 | 6,661 | 0.5 | 126 | △39.7 | 102 | △52.7 | 91 | △53.4 | 12.11 |

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)詳細は、16ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 23年9月期 | 7,600,000 株 | 22年9月期 | 7,600,000 株 |
|--------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|--------|----------|--------|---------|
| 23年9月期 | 10,090 株 | 22年9月期 | 8,236 株 |
|--------|----------|--------|---------|

③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 23年9月期 | 7,590,533 株 | 22年9月期 | 7,592,226 株 |
|--------|-------------|--------|-------------|

(注)1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、29ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考)個別業績の概要

1. 平成23年9月期の個別業績(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年9月期 | 6,207 | △29.0 | 227 | 143.1 | 236 | 197.9 | 223 | — |
| 22年9月期 | 8,739 | △22.9 | 93 | △72.6 | 79 | △76.0 | △1,420 | — |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | 29.45 | — |
| 22年9月期 | △187.07 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|--------|---|-------|---|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | | |
| 23年9月期 | 10,005 | | 5,946 | | 59.4 | 783.48 | | |
| 22年9月期 | 10,642 | | 5,756 | | 54.1 | 758.32 | | |

(参考) 自己資本 23年9月期 5,946百万円 22年9月期 5,756百万円

2. 平成24年9月期の個別業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,596 | △1.0 | 213 | △29.4 | 197 | △35.5 | 192 | △64.4 | 25.36 |
| 通期 | 6,091 | △1.9 | 111 | △50.9 | 87 | △63.1 | 77 | △65.4 | 10.18 |

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 経営成績 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 2 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| (4) 事業等のリスク | 3 |
| 2. 企業集団の状況 | 5 |
| 3. 経営方針 | 6 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 6 |
| (2) 目標とする経営指標 | 6 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 | 6 |
| (4) 会社の対処すべき課題 | 6 |
| (5) その他、会社の経営上重要な事項 | 6 |
| 4. 連結財務諸表 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 16 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 16 |
| (7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 | 19 |
| (8) 表示方法の変更 | 20 |
| (9) 追加情報 | 20 |
| (10) 連結財務諸表に関する注記事項 | 21 |
| (連結貸借対照表関係) | 21 |
| (連結損益計算書関係) | 22 |
| (連結包括利益計算書関係) | 23 |
| (連結株主資本等変動計算書関係) | 24 |
| (連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 25 |
| (セグメント情報等) | 26 |
| (1株当たり情報) | 29 |
| (重要な後発事象) | 30 |
| 5. 個別財務諸表 | 31 |
| (1) 貸借対照表 | 31 |
| (2) 損益計算書 | 34 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 38 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 40 |
| (5) 重要な会計方針 | 40 |
| (6) 会計処理方法の変更 | 42 |
| (7) 表示方法の変更 | 42 |
| (8) 個別財務諸表に関する注記事項 | 43 |
| (貸借対照表関係) | 43 |
| (損益計算書関係) | 44 |
| (株主資本等変動計算書関係) | 45 |
| (1株当たり情報) | 45 |
| (重要な後発事象) | 45 |
| 6. その他 | 46 |
| (1) 役員の変動 | 46 |
| (2) その他 | 46 |

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により企業活動に大きな混乱が起きました。また、海外経済の急激な減速や歴史的な円高の影響を受け、日本国内の生産や輸出にも影響が及んでおり、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、東日本大震災の一部復興需要はみられるものの、公共事業予算は依然として削減傾向であり公共投資は低調に推移しております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は当期経営基本方針として「スリムな体制、セーフティーな作業環境、スピードのある業務と判断により収益力のアップを図る。」を掲げ、公共工事につきましては発注工事の内容を精査し収益性の高い物件獲得へ向けた受注活動を行ってまいりました。また、民需中心の基礎工事及び建築工事につきましては受注体制の拡充を図り受注の拡大に努めてまいりました。売上高におきましては66億30百万円と前連結会計年度に比し27億82百万円（29.6%減）の減収になりましたが、工事原価、販売費及び一般管理費ともに人件費を中心に原価の圧縮、費用の削減に努めてまいりました。その結果、経常利益は2億16百万円と前連結会計年度に比し2億4百万円（1,819.7%増）の増益となりました。

当期純利益につきましては特別利益として連結子会社の譲渡による株式売却益や固定資産の売却益等を計上したものの減損損失や貸倒引当金繰入額及び固定資産除却損等の特別損失を計上したことにより1億97百万円（前連結会計年度は当期純損失12億92百万円）となりました。

a. 建設事業

当連結会計年度における建設事業の完成工事高は、54億58百万円と前連結会計年度に比し23億76百万円（30.3%減）の減収となりました。主な完成工事は、NEXCO中日本 第二東名高速道路浜北高架橋（PC上部工）西回り線工事 24億40百万円（うち当連結会計期間完成工事高2億35百万円）、鹿児島県 県単道路整備（交付金）工事（曾木大橋） 12億46百万円（うち当連結会計期間完成工事高3億62百万円）、鹿児島市 高麗通線道路築造工事（その20） 3億81百万円（うち当連結会計期間完成工事高1億77百万円）等であります。完成工事高は減収となりましたが、原価の圧縮、費用の削減により営業利益は5億29百万円となり、前連結会計年度に比し1億47百万円（38.5%増）の増益となりました。

b. コンクリート製品事業

当連結会計年度におけるコンクリート製品事業の売上高は、9億77百万円と前連結会計年度に比し2億円（17.0%減）の減収となりました。売上高の大幅な減少に伴い営業利益は35百万円と前連結会計年度に比し20百万円（36.6%減）の減益となりました。

c. 食品事業

当連結会計年度における食品事業の売上高は、焼酎製造販売を営んできた連結子会社霧島横川酒造株式会社の全株式を平成22年12月27日付にて譲渡したことにより大幅に減少し50百万円と前連結会計年度に比し1億57百万円（75.8%減）の減収となりました。営業損失は15百万円となりました（前連結会計年度は営業損失77百万円）。

d. 不動産賃貸事業

当連結会計年度における不動産賃貸事業の売上高は1億44百万円と前連結会計年度に比し47百万円（24.8%減）の減収となりました。売上高の減少に伴い、営業利益は35百万円となり、前連結会計年度に比し7百万円（18.5%減）の減益となりました。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、当社及び当社グループの主たる建設事業においては公共投資の減少傾向は続いております。また、民間の設備投資も景気の先行き不透明感により低迷しております。

このような経営環境の中、当社及び当社グループは「全社員一丸となり事業採算性の意識を持った業務により収益性のある企業を目指す。」を次期経営基本方針とし、これに係る諸施策を遂行し利益の確保に努めてまいります。

なお、次連結会計年度の通期業績予想は、売上高66億61百万円、営業利益1億26百万円、経常利益1億2百万円、当期純利益91百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金が増加したものの、税金等調整前当期純利益が大幅に増加し、関係会社株式の売却及び長期借入金の借入による収入もあったことから前連結会計年度に比し6億86百万円の増加となり、当連結会計年度末は8億58百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、4億70百万円と前連結会計年度に比し5億18百万円の増加となりました。これは仕入債務が11億86百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益2億3百万円の計上に加え、未成工事受入金が9億16百万円増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、10億26百万円と前連結会計年度に比し8億76百万円の増加となりました。これは固定資産の売却による収入が7億20百万円増加したほか、関係会社株式の売却による収入が2億円増加したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、マイナス8億9百万円と前連結会計年度に比し5億83百万円の減少となりました。これは長期借入金の借入による収入が21億円あったものの、短期借入金返済が20億2百万円増加、長期借入金の返済に係る支出が6億82百万円増加したことが主な要因であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標群のトレンドは以下のとおりであります。

| | 第49期 | 第50期 | 第51期 | 第52期 | 第53期 |
|------------------|------|------|------|------|------|
| 自己資本比率 (%) | 56.6 | 43.8 | 49.2 | 52.3 | 58.6 |
| 時価ベースの自己資本 (%) | 16.8 | 13.8 | 13.7 | 10.1 | 11.8 |
| 債務償還年数 (年) | — | — | 1.8 | — | 3.6 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | — | — | 28.0 | — | 12.7 |

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は期末時価終値×期末発行済株式総数により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては連結損益計算書の支払利息額を使用しております。
4. 第49期、第50期、第52期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、従来から官公需を主体とする工事請負施工部門の比重が大きく、公共性の高い事業内容となっており、より安定した経営成績の確保及び経営基盤の維持増強に努めております。

したがって、利益配分についても、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

以上のことより当期末及び来期末も1株当たり5円の配当を予定しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの事業発展その他に関するリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項には以下のようなものがあります。なお、将来に関する事項が含まれておりますが、当連結会計年度末現在において判断したものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

① 公共事業への依存について

当社グループの事業内容は主に建設事業であり、売上高の概ね8割～9割を公共工事で占めております。官公庁工事が多いことで資金の未回収リスクは低いものの、近年の公共工事縮減政策により、受注高ひいては完成工事高の低下をもたらす虞れがあります。

② 取引先の信用リスクが増加する可能性について

建設業において民間工事については、多くの場合、工事目的物の引渡し時に多額の工事代金が支払われる条件で契約が締結されており、工事代金を受領する前に取引先が信用不安に陥った場合には、業績に及ぼす可能性があります。

③ 資材価格や外注労務単価の変動について

様々な要因で資材の購入価格や外注労務単価が高騰した際、請負金額に反映することが困難な場合には、業績に影響を及ぼす可能性があります。

④ かし担保責任及び製造物責任について

品質管理には万全を期しておりますが、かし担保責任及び製造物責任による損害賠償が発生した場合には、業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 現場での労災事故について

建設事業は高所作業などの危険作業が多く、産業界でも事故発生率は最も高い産業であり、当然のことではあります。全社を挙げてゼロ災害に取り組んでおります。しかしながら、万一重大事故が発生した場合には、社会的影響は大きく、発注機関から指名停止を受けるなど、業績に影響を及ぼす可能性があります。

⑥ その他

当社は、公正取引委員会より「国土交通省が関東地方整備局において発注する橋梁の新設工事」の件及び「国土交通省が近畿地方整備局において発注する橋梁の新設工事」の件に関して独占禁止法違反の審決の送達を受け、社内で慎重に検討の結果、審決の状況ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に判断し、審決を受入れることになりました。これに伴い発注者から一定期間の指名停止の処分を受け、さらに国土交通省から営業停止の処分を受けるとともに公正取引委員会に対し、課徴金の納付を行いました。今後については、損害賠償を求める民事訴訟が提起される可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社2社で構成され、プレストレストコンクリート（以下「PC」という。）及び一般コンクリートを用いる土木・建築工事の請負、設計、施工、監理を中心に、PC製品及び一般コンクリート製品の製造及び販売、型枠の賃貸、健康食品等の販売、不動産の賃貸の事業を行っております。各事業における当社グループ各社の位置付け等は次のとおりであります。

（建設事業）

当事業は、一般土木の施工と違い、当社を中心とした橋梁工事部門と基礎工事部門及び連結子会社(株)ケイテックを中心とした橋梁・各種構造物の補修工事部門にて事業活動を行っております。また、当社においては、個人住宅の分譲及び施工工事も行っております。

（コンクリート製品事業）

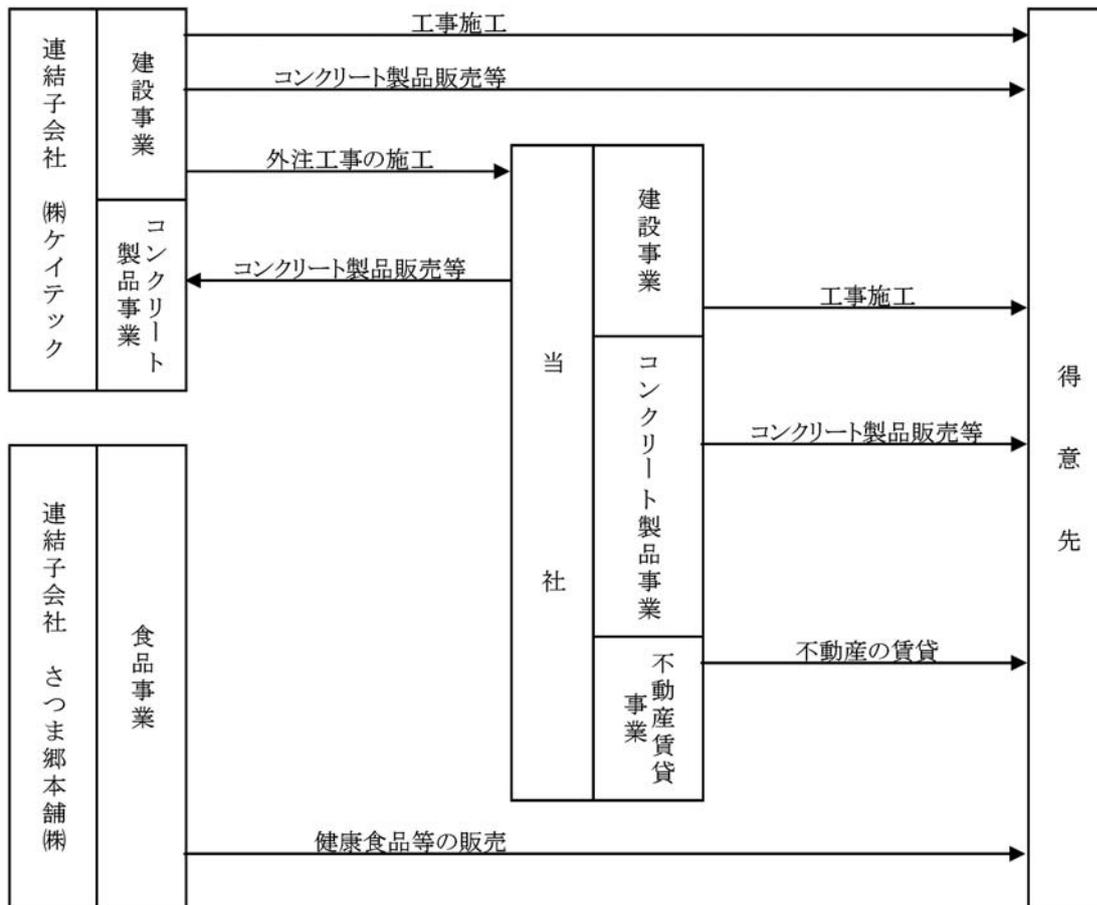
当事業は、当社にて製造したPC関連を中心としたコンクリート製品及び一般土木用コンクリート製品の販売、同製品の連結子会社(株)ケイテックにおける販売、当社における消波・根固用として使用される土木用ブロックの鋼製型枠の賃貸の各事業を行っております。

（食品事業）

当事業は、連結子会社さつま郷本舗(株)における健康食品等の販売及び焼酎等アルコール類の販売の事業を行っております。なお、平成22年12月27日付にて食品事業を営んできた霧島横川酒造株式会社の全株式を譲渡いたしました。

（不動産賃貸事業）

当事業は、当社にてホテル施設を主体とした不動産の賃貸事業を行っております。事業系統図を示すと、次のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループ（当社及び連結子会社）は、

1. 当社は人と自然の調和を図り、うるおいのある環境づくりで社会に貢献する。
2. 当社の社員は誠実をモットーに、社会に役立つ積極的な行動を行う。

という企業理念のもと、地域社会住民との協調をめざし事業活動を展開しております。

経営の基本方針につきましては、以下の個別方針に基づき、当社グループの株主、取引先、従業員に対して誠実な企業であるとともに、競争にうち勝てる企業であり続けなければならないと考えております。

- ①お客様に満足を与え、感謝される仕事を通じ、当社及び当社グループの繁栄を目指す。
- ②工事施工、製造の技術と能力の向上を追求し、取引先の信頼に応える。
- ③収益性の向上と健全な財務体質を目指し、株主の委託に答える。
- ④社員には働き甲斐と公正な機会を与え、正当な評価でインセンティブを高める。

(2) 目標とする経営指標

当社グループの収益の柱である建設事業及びコンクリート製品事業は、近年公共工事の縮減の状況で収益の確保が困難な環境ではありますが、総資産利益率（ROA）の向上を経営の目標としてまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、建設事業分野の橋梁施工事業を収益の柱として企業活動を行っており、基本的にはこの事業をいかに継続発展させていくかが中長期的な経営戦略の要であります。しかし、昨今の公共工事の縮減及び各発注機関の単価の見直しの中で、継続的な受注の拡大及び収益の確保が困難な経営環境になっております。

このような状況のなか、公共工事におきましては発注工事の内容を精査して収益のあがる工事の受注活動を行います。又、民需中心の基礎工事及び建築工事におきましては受注体制の拡充を図り、受注の拡大に努めていき公共工事に依存しない受注体制を確立していきます。

(4) 会社の対処すべき課題

当社グループの位置する建設業界におきましては、中央官庁及び地方自治体が行う公共投資額は年々縮減されております。当社グループにおきましても受注高の減少に加えまして工事の収益性の低下といった問題に直面しております。

今後の展開につきましては、入札制度の変更に伴い、価格競争によらない入札にも対応できる体制作りに今まで以上に努め、収益性の高い物件獲得へ向け受注活動を行ってまいります。食品事業につきましては、民間需要に対応すべく売上高の増加につながる営業体制を構築していきます。不動産賃貸事業につきましても、遊休地を含む資産の洗い出しを行い資産の有効活用を図ってまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (平成23年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 271,230 | 978,198 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 1,440,611 | 1,191,693 |
| 販売用不動産 | 179,068 | 136,329 |
| 未成工事支出金 | ※2 109,489 | ※2 148,922 |
| 商品及び製品 | 176,867 | 156,593 |
| 仕掛品 | 110,923 | 5,596 |
| 材料貯蔵品 | 46,590 | 37,711 |
| その他 | 111,375 | 150,811 |
| 貸倒引当金 | △10,562 | △887 |
| 流動資産合計 | 2,435,594 | 2,804,970 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物 | ※1 5,203,918 | ※1 3,674,243 |
| 減価償却累計額 | △3,491,469 | △2,349,207 |
| 建物・構築物(純額) | 1,712,449 | 1,325,036 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | ※1 3,959,870 | ※1 3,885,466 |
| 減価償却累計額 | △3,590,116 | △3,605,804 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品(純額) | 369,753 | 279,662 |
| 土地 | ※1 4,961,363 | ※1 4,316,018 |
| 建設仮勘定 | 3,809 | 4,259 |
| 有形固定資産合計 | 7,047,375 | 5,924,976 |
| 無形固定資産 | 19,099 | 13,019 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 959,330 | 966,322 |
| 前払年金費用 | 123,584 | 91,666 |
| その他 | 519,819 | 553,899 |
| 貸倒引当金 | △92,332 | △264,683 |
| 投資その他の資産合計 | 1,510,402 | 1,347,205 |
| 固定資産合計 | 8,576,877 | 7,285,201 |
| 資産合計 | 11,012,472 | 10,090,171 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 1,455,852 | 1,264,340 |
| 短期借入金 | ※1 2,040,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | ※1 148,560 | ※1 314,900 |
| 未払法人税等 | 21,330 | 21,729 |
| 未払消費税等 | 117,756 | 67,170 |
| 未成工事受入金 | 187,171 | 343,590 |
| 完成工事補償引当金 | 3,400 | 5,200 |
| 工事損失引当金 | ※2 14,149 | ※2 18,300 |
| 賞与引当金 | 4,628 | 75,507 |
| その他 | 639,597 | 601,614 |
| 流動負債合計 | 4,632,446 | 2,712,352 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | ※1 518,140 | ※1 1,381,485 |
| 繰延税金負債 | 63,812 | 53,268 |
| その他 | 43,908 | 25,333 |
| 固定負債合計 | 625,861 | 1,460,087 |
| 負債合計 | 5,258,308 | 4,172,439 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 資本剰余金 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 利益剰余金 | 3,146,770 | 3,306,362 |
| 自己株式 | △3,008 | △3,243 |
| 株主資本合計 | 5,741,261 | 5,900,618 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,902 | 17,112 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,902 | 17,112 |
| 純資産合計 | 5,754,164 | 5,917,731 |
| 負債純資産合計 | 11,012,472 | 10,090,171 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 | | 当連結会計年度 | |
|------------|---------|-------------|---------|-------------|
| | (自 | 平成21年10月1日 | (自 | 平成22年10月1日 |
| | 至 | 平成22年9月30日) | 至 | 平成23年9月30日) |
| 売上高 | | | | |
| 完成工事高 | | 7,834,891 | | 5,458,255 |
| 製品売上高 | | 1,385,136 | | 1,027,301 |
| 不動産賃貸収入 | | 192,181 | | 144,571 |
| 売上高合計 | | 9,412,209 | | 6,630,128 |
| 売上原価 | | | | |
| 完成工事原価 | ※2 | 7,122,634 | ※2 | 4,629,764 |
| 製品売上原価 | ※1 | 1,251,852 | ※1 | 914,055 |
| 不動産賃貸原価 | | 148,744 | | 109,104 |
| 売上原価合計 | | 8,523,231 | | 5,652,924 |
| 売上総利益 | | | | |
| 完成工事総利益 | | 712,257 | | 828,490 |
| 製品売上総利益 | | 133,283 | | 113,246 |
| 不動産賃貸総利益 | | 43,437 | | 35,467 |
| 売上総利益合計 | | 888,978 | | 977,204 |
| 販売費及び一般管理費 | | ※3 851,261 | | ※3 767,485 |
| 営業利益 | | 37,716 | | 209,718 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | | 1,291 | | 352 |
| 受取配当金 | | 6,735 | | 6,861 |
| 受取賃貸料 | ※4 | 9,783 | ※4 | 8,498 |
| 業務受託料 | | 4,952 | | 1,277 |
| 作業屑売却収入 | | 4,516 | | 9,832 |
| 補助金収入 | | — | | 22,171 |
| その他 | | 6,514 | | 4,149 |
| 営業外収益合計 | | 33,792 | | 53,142 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | | 48,423 | | 36,969 |
| 支払保証料 | | 4,099 | | 4,573 |
| その他 | | 7,724 | | 5,125 |
| 営業外費用合計 | | 60,247 | | 46,667 |
| 経常利益 | | 11,262 | | 216,192 |
| 特別利益 | | | | |
| 固定資産売却益 | ※5 | 678 | ※5 | 91,176 |
| 関係会社株式売却益 | | — | | 222,629 |
| 特別利益合計 | | 678 | | 313,805 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | ※6 864 |
| 固定資産除却損 | ※7 37,525 | ※7 52,318 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 16,709 |
| 減損損失 | ※8 770,626 | ※8 91,491 |
| 投資有価証券評価損 | 68,018 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 165,300 |
| 課徴金 | ※9 371,064 | — |
| 特別損失合計 | 1,247,234 | 326,683 |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | △1,235,294 | 203,315 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21,214 | 19,162 |
| 法人税等調整額 | 35,530 | △13,397 |
| 法人税等合計 | 56,744 | 5,764 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | — | 197,550 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,292,039 | 197,550 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | — | 197,550 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 4,210 |
| その他の包括利益合計 | — | 4,210 |
| 包括利益 | — | 201,760 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | — | 201,760 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 前期末残高 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 4,476,774 | 3,146,770 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,292,039 | 197,550 |
| 当期変動額合計 | △1,330,003 | 159,592 |
| 当期末残高 | 3,146,770 | 3,306,362 |
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | △2,792 | △3,008 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 当期変動額合計 | △216 | △234 |
| 当期末残高 | △3,008 | △3,243 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 7,071,481 | 5,741,261 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,292,039 | 197,550 |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 当期変動額合計 | △1,330,219 | 159,357 |
| 当期末残高 | 5,741,261 | 5,900,618 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 19,580 | 12,902 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △6,678 | 4,210 |
| 当期変動額合計 | △6,678 | 4,210 |
| 当期末残高 | 12,902 | 17,112 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 7,091,062 | 5,754,164 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,292,039 | 197,550 |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △6,678 | 4,210 |
| 当期変動額合計 | △1,336,898 | 163,567 |
| 当期末残高 | 5,754,164 | 5,917,731 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | △1,235,294 | 203,315 |
| 減価償却費 | 411,901 | 235,707 |
| 減損損失 | 770,626 | 91,474 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △2,019 | 162,674 |
| 完成工事補償引当金の増減額(△は減少) | △1,700 | 1,800 |
| 工事損失引当金の増減額(△は減少) | △48,650 | 4,150 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △72,204 | 70,878 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,026 | △7,213 |
| 支払利息 | 48,423 | 36,969 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 36,847 | △37,993 |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | — | △222,629 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 16,709 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 68,018 | — |
| 課徴金 | 371,064 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 412,031 | 226,508 |
| 未成工事支出金の増減額(△は増加) | 1,221,531 | △39,432 |
| その他のたな卸資産の増減額(△は増加) | 23,345 | 38,924 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 103,822 | △42,283 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,375,286 | △188,337 |
| 未成工事受入金の増減額(△は減少) | △759,750 | 156,418 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 21,111 | △9,418 |
| その他 | 26,821 | △67,262 |
| 小計 | 12,612 | 630,959 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,460 | 9,073 |
| 利息の支払額 | △46,431 | △34,462 |
| 課徴金等の支払額 | — | △116,260 |
| 法人税等の支払額 | △21,316 | △18,694 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △47,675 | 470,614 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(△は増加) | 20,000 | △20,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △66,836 | △1,484 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 92,047 | 812,422 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8,993 | — |
| 関係会社株式の売却による収入 | — | ※2 200,122 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,249 | 29,917 |
| その他 | 110,752 | 5,067 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 149,219 | 1,026,045 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △38,000 | △2,040,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 2,100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △148,560 | △830,755 |
| リース債務の返済による支出 | △1,218 | △456 |
| 自己株式の取得による支出 | △216 | △234 |
| 配当金の支払額 | △37,778 | △38,245 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △225,773 | △809,692 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △124,229 | 686,968 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 295,460 | 171,230 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | ※1 171,230 | ※1 858,198 |

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 項 目 | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|--|--|
| 1. 連結の範囲に関する事項 | すべての子会社（3社（株）ケイテック、さつま郷本舗(株)、霧島横川酒造(株)）を連結しております。 | すべての子会社（2社（株）ケイテック、さつま郷本舗(株)）を連結しております。 なお、霧島横川酒造株式会社は、平成22年12月27日に当社が保有する株式のすべてを譲渡したため、平成22年12月31日をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。 |
| 2. 持分法の適用に関する事項 | 該当事項はありません。 | ————— |
| 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項 | 連結子会社の決算日は、霧島横川酒造(株)（6月30日）を除き、連結決算日と一致しております。 なお、霧島横川酒造(株)については、同社の決算日現在の財務諸表を使用して連結決算を行っております。ただし、連結決算日との間に生じた霧島横川酒造(株)との重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。 | ————— |
| 4. 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 | <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの ……………決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております） 時価のないもの ……………移動平均法による原価法</p> <p>② たな卸資産 販売用不動産 ……………個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 未成工事支出金 ……………個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 製品、仕掛品及び材料 ……………総平均法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 貯蔵品 ……………最終仕入原価法</p> | <p>① 有価証券 その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの 同左</p> <p>② たな卸資産 販売用不動産 同左 未成工事支出金 同左 製品、仕掛品及び材料 同左 貯蔵品 同左</p> |

| 項 目 | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法 | <p>① 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については定額法）を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物・構築物 8年～50年 機械・運搬具及び工具 3年～12年 器具備品</p> <p>② 無形固定資産（リース資産を除く） 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。</p> <p>③ リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引の開始日が平成20年9月30日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> | <p>① 有形固定資産（リース資産を除く） 同左</p> <p>② 無形固定資産（リース資産を除く） 同左</p> <p>③ リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引の開始日が平成20年9月30日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> |
| (3) 重要な引当金の計上基準 | <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>② 完成工事補償引当金 完成工事のかし担保の費用に備えるため、過去2年以内における完成工事高に対する補修費の割合を基礎に将来の補修費の見込額を加味して計上しております。</p> <p>③ 工事損失引当金 当連結会計年度末手持工事のうち損失が見込まれ、かつ、損失額を合理的に見積ることができる工事について、当該損失見積額を計上しております。</p> <p>④ 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。</p> | <p>① 貸倒引当金 同左</p> <p>② 完成工事補償引当金 同左</p> <p>③ 工事損失引当金 同左</p> <p>④ 賞与引当金 同左</p> |

| 項 目 | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| (4) 重要な収益及び費用の計上基準 | <p>⑤ 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>なお、計算の結果、退職給付引当金が借方残高となっているため、「前払年金費用」として連結貸借対照表の投資その他の資産に計上しております。</p> <p>過去勤務債務については、5年による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。</p> <p>(会計方針の変更)</p> <p>当連結会計年度から「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。</p> <p>なお、これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>完成工事高及び完成工事原価の計上基準</p> <p>当連結会計年度末までの進捗部分については成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。但し、平成20年9月30日以前に着手した工事契約のうち、長期大型工事（工期18か月超、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を引き続き適用しております。</p> <p>なお、当連結会計年度の工事進行基準によった完成工事高は、3,922,043千円であります。</p> | <p>⑤ 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>なお、計算の結果、退職給付引当金が借方残高となっているため、「前払年金費用」として連結貸借対照表の投資その他の資産に計上しております。</p> <p>過去勤務債務については、5年による定額法により費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。</p> <hr/> <p>完成工事高及び完成工事原価の計上基準</p> <p>当連結会計年度末までの進捗部分については成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>なお、当連結会計年度の工事進行基準によった完成工事高は、3,845,642千円であります。</p> |

| 項 目 | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------------|---|--|
| (5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 | ————— | 手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 |
| (6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項 | 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。 | 消費税等の会計処理 同左 |
| 5. 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項 | 連結子会社の資産及び負債の評価は、全面時価評価法を採用しております。 | ————— |
| 6. のれんの償却に関する事項 | のれんの償却については、その効果の発現する期間(20年)において均等償却しております。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、発生した連結会計年度の損益として処理することとしております。 | ————— |
| 7. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 | 資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。 | ————— |

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更
会計方針の変更

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|
| ————— | (資産除去債務に関する会計基準の適用) 当連結会計年度より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当連結会計年度の営業利益及び経常利益は75千円、税金等調整前四半期純利益は16,784千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は16,709千円であります。 |

(8)表示方法の変更

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|
| <p>(連結貸借対照表)</p> <p>前連結会計年度まで区分掲記しておりました「立替金」は、当連結会計年度において重要性がなくなったため、流動資産の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>なお、当連結会計年度における「立替金」の金額は52,036千円であります。</p> <p style="text-align: center;">—————</p> <p>(連結キャッシュ・フロー計算書)</p> <p>前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「たな卸資産の増減額(△は増加)」に含めて表示しておりました「未成工事支出金の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度より区分掲記することとしました。</p> <p>なお、前連結会計年度の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「たな卸資産の増減額(△は増加)」に含まれる未成工事支出金の減少額は1,475,460千円であります。</p> | <p>(連結貸借対照表)</p> <p style="text-align: center;">—————</p> <p>(連結損益計算書)</p> <p>当連結会計年度より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)を適用し、「少数株主損益調整前当期純利益」の科目で表示しております。</p> <p>(連結キャッシュ・フロー計算書)</p> <p style="text-align: center;">—————</p> |

(9)追加情報

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|
| ————— | <p>当連結会計年度より、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用しております。ただし、「その他の包括利益累計額」及び「その他の包括利益累計額合計」の前連結会計年度の金額は、「評価・換算差額等」及び「評価・換算差額等合計」の金額を記載しております。</p> <p>なお、その他の包括利益の内訳項目ごとに税効果の金額及び組替調整額についても記載しております。</p> |

(10) 注記事項
(連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------|--------|--|--------|-----------|------|-------|----|-----------|---|-----------|-----------|---------|-------|-----------|---------------|---------|-------|---------|---|-----------|-------------|---------|---------|--|--------|--------|------|-------|----|---------|---|---------|--|---------|---------|--------|--|--------|---------|------|-------|----|-----------|---|-----------|-----------|---------|---------------|---------|-------|-----------|---|-----------|-------------|---------|---------|--|--------|--------|------|-------|----|---------|---|---------|
| <p>※1 担保資産と担保されている債務は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物・構築物</td> <td style="text-align: right;">1,144,274</td> </tr> <tr> <td> 機械装置</td> <td style="text-align: right;">4,905</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">2,746,143</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">3,895,322</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保されている債務</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,400,000</td> </tr> <tr> <td>1年内返済予定の長期借入金</td> <td style="text-align: right;">148,560</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">518,140</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">2,066,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記担保資産のうち工場財団抵当に供されているものは次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工場財団抵当資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大隅、熊本工場</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物・構築物</td> <td style="text-align: right;">95,090</td> </tr> <tr> <td> 機械装置</td> <td style="text-align: right;">4,905</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">804,404</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">904,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、当該工場財団抵当に担保されている債務は個別に対応させることが困難なため、記載しておりません。</p> | 担保資産の種類 | 金額 (千円) | 有形固定資産 | | 建物・構築物 | 1,144,274 | 機械装置 | 4,905 | 土地 | 2,746,143 | 計 | 3,895,322 | 担保されている債務 | 金額 (千円) | 短期借入金 | 1,400,000 | 1年内返済予定の長期借入金 | 148,560 | 長期借入金 | 518,140 | 計 | 2,066,700 | 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | 大隅、熊本工場 | | 建物・構築物 | 95,090 | 機械装置 | 4,905 | 土地 | 804,404 | 計 | 904,400 | <p>※1 担保資産と担保されている債務は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物・構築物</td> <td style="text-align: right;">947,837</td> </tr> <tr> <td> 機械装置</td> <td style="text-align: right;">2,452</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">2,465,889</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">3,416,179</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保されている債務</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年内返済予定の長期借入金</td> <td style="text-align: right;">314,900</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,381,485</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">1,696,385</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記担保資産のうち工場財団抵当に供されているものは次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工場財団抵当資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大隅、熊本工場</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物・構築物</td> <td style="text-align: right;">86,256</td> </tr> <tr> <td> 機械装置</td> <td style="text-align: right;">2,452</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">804,404</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">893,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、当該工場財団抵当に担保されている債務は個別に対応させることが困難なため、記載しておりません。</p> | 担保資産の種類 | 金額 (千円) | 有形固定資産 | | 建物・構築物 | 947,837 | 機械装置 | 2,452 | 土地 | 2,465,889 | 計 | 3,416,179 | 担保されている債務 | 金額 (千円) | 1年内返済予定の長期借入金 | 314,900 | 長期借入金 | 1,381,485 | 計 | 1,696,385 | 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | 大隅、熊本工場 | | 建物・構築物 | 86,256 | 機械装置 | 2,452 | 土地 | 804,404 | 計 | 893,113 |
| 担保資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物・構築物 | 1,144,274 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置 | 4,905 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 2,746,143 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 3,895,322 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保されている債務 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期借入金 | 1,400,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 148,560 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金 | 518,140 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 2,066,700 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大隅、熊本工場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物・構築物 | 95,090 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置 | 4,905 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 804,404 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 904,400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物・構築物 | 947,837 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置 | 2,452 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 2,465,889 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 3,416,179 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保されている債務 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 314,900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金 | 1,381,485 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,696,385 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大隅、熊本工場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物・構築物 | 86,256 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械装置 | 2,452 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 804,404 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 893,113 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※2 工事損失引当金</p> <p>損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金と工事損失引当金は、相殺せず両建てで表示しております。</p> <p>損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金のうち、工事損失引当金に対応する額は1,100千円であります。</p> | <p>※2 工事損失引当金</p> <p>損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金と工事損失引当金は、相殺せず両建てで表示しております。</p> <p>損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金のうち、工事損失引当金に対応する額は11,571千円であります。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(連結損益計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------------------|----------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|----|------|----|--------|-----------|---------|----|---------|----------|------|----|---------|---------|------|------------------|---------|----|---|---|---------|--|---------|-----------|----------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|--------|----------|-------|----|------|----|--------|--------|------|--------|--------|----|---|---|--------|
| <p>※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、たな卸資産評価損が売上原価に989千円含まれております。</p> <p>※2 完成工事原価に含まれる工事損失引当金繰入額は、6,448千円であります。</p> <p>※3 販売費及び一般管理費の主要な費目及びその金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">320,389千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">1,371</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">26,669</td> </tr> <tr> <td>荷造運搬費</td> <td style="text-align: right;">36,580</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">37,501</td> </tr> </table> <p>※4 資材置場等一時的な不動産の賃貸に関する営業目的外のものであります。</p> <p>※5 固定資産売却益の内訳は、車両運搬具売却益529千円ほかであります。</p> <p>※7 固定資産除却損の内訳は、建物除却損26,093千円、機械装置除却損8,982千円ほかであります。</p> <p>※8 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">地域</th> <th style="width: 25%;">主な用途</th> <th style="width: 15%;">種類</th> <th style="width: 45%;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島県薩摩川内市</td> <td>不動産賃貸資産</td> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">332,838</td> </tr> <tr> <td>鹿児島県鹿児島市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">221,776</td> </tr> <tr> <td>鹿児島県霧島市</td> <td>食品事業</td> <td>建物・構築物、機械装置、のれん等</td> <td style="text-align: right;">216,010</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">770,626</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、事業の種類別セグメントを基準として、建設事業、コンクリート製品事業、食品事業、不動産賃貸事業、遊休資産にグループ化し、減損損失の認識を行っております。その結果、事業の見直しに伴い売却計画が決定したことにより薩摩川内市の賃貸事業資産の帳簿価額と回収可能価額との差額332,838千円、鹿児島市の所有土地について不動産開発の長期化により帳簿価額と回収可能価額との差額221,776千円、また、食品事業設備について、収益性の低下に伴い帳簿価額と回収可能価額との差額216,010千円をそれぞれ減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、処分見込価額又は固定資産税評価額に基づき合理的な調整を行って算定した価額によっております。</p> | 従業員給料手当 | 320,389千円 | 賞与引当金繰入額 | 1,371 | 退職給付費用 | 26,669 | 荷造運搬費 | 36,580 | 減価償却費 | 37,501 | 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額(千円) | 鹿児島県薩摩川内市 | 不動産賃貸資産 | 建物 | 332,838 | 鹿児島県鹿児島市 | 遊休資産 | 土地 | 221,776 | 鹿児島県霧島市 | 食品事業 | 建物・構築物、機械装置、のれん等 | 216,010 | 合計 | — | — | 770,626 | <p>※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、たな卸資産評価損が売上原価に769千円含まれております。</p> <p>※2 完成工事原価に含まれる工事損失引当金繰入額は、13,004千円であります。</p> <p>※3 販売費及び一般管理費の主要な費目及びその金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">255,512千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">22,253</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">18,250</td> </tr> <tr> <td>荷造運搬費</td> <td style="text-align: right;">31,433</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">32,158</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">5,636</td> </tr> </table> <p>※4 同左</p> <p>※5 固定資産売却益の内訳は、土地売却益91,176千円であります。</p> <p>※6 固定資産売却損の内訳は、建物売却損814千円ほかであります。</p> <p>※7 固定資産除却損の内訳は、建物除却損41,882千円、構築物除却損7,934千円ほかであります。</p> <p>※8 減損損失 当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">地域</th> <th style="width: 25%;">主な用途</th> <th style="width: 15%;">種類</th> <th style="width: 45%;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熊本県熊本市</td> <td>建設事業</td> <td>土地、建物等</td> <td style="text-align: right;">91,491</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">91,491</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、事業セグメントを基準として、建設事業、コンクリート製品事業、食品事業、不動産賃貸事業、遊休資産にグループ化し、減損損失の認識を行っております。その結果、熊本県熊本市内の建設事業資産について利用方法の見直しを行ったことにより帳簿価額と回収可能価額との差額91,491千円を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、処分見込価額又は固定資産税評価額に基づき合理的な調整を行って算定した価額によっております。</p> | 従業員給料手当 | 255,512千円 | 賞与引当金繰入額 | 22,253 | 退職給付費用 | 18,250 | 荷造運搬費 | 31,433 | 減価償却費 | 32,158 | 貸倒引当金繰入額 | 5,636 | 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額(千円) | 熊本県熊本市 | 建設事業 | 土地、建物等 | 91,491 | 合計 | — | — | 91,491 |
| 従業員給料手当 | 320,389千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 1,371 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 26,669 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 荷造運搬費 | 36,580 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 37,501 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額(千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島県薩摩川内市 | 不動産賃貸資産 | 建物 | 332,838 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島県鹿児島市 | 遊休資産 | 土地 | 221,776 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島県霧島市 | 食品事業 | 建物・構築物、機械装置、のれん等 | 216,010 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | — | — | 770,626 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 従業員給料手当 | 255,512千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 22,253 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 18,250 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 荷造運搬費 | 31,433 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 32,158 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸倒引当金繰入額 | 5,636 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額(千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊本県熊本市 | 建設事業 | 土地、建物等 | 91,491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | — | — | 91,491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|--|---|
| <p>※9 当社は、平成16年10月15日、公正取引委員会より「国土交通省が関東地方整備局及び近畿地方整備局において発注する橋梁新設工事」の件で、排除勧告をうけ、応諾せずその後審判を受けてまいりましたが、平成22年5月26日、公正取引委員会より審決が送達されました。</p> <p>これを受けて慎重に検討を行った結果、審判の状況ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に判断し、審決を受け入れることとしたため、課徴金139,149千円及び損害賠償金231,915千円の合計371,064千円を特別損失として計上いたしました。</p> | ————— |

(連結包括利益計算書関係)

当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

| | |
|--------------------------------|--------------|
| 1 当連結会計年度の直前連結会計年度における包括利益 | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △1,298,717千円 |
| 少数株主に係る包括利益 | — |
| 計 | △1,298,717 |
| 2 当連結会計年度の直前連結会計年度におけるその他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,678千円 |
| 計 | △6,678 |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|----------|-----------|----|----|-----------|
| 普通株式 (株) | 7,600,000 | — | — | 7,600,000 |

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|----------|----------|-------|----|----------|
| 普通株式 (株) | 7,088 | 1,148 | — | 8,236 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加1,148株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たりの配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------------------|------------|-------------|
| 平成21年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 37,964 | 5 | 平成21年9月30日 | 平成21年12月24日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たりの配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------|-------------------|------------|-------------|
| 平成22年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 37,958 | 利益剰余金 | 5 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月24日 |

当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|----------|-----------|----|----|-----------|
| 普通株式 (株) | 7,600,000 | — | — | 7,600,000 |

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 前連結会計年度末 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|----------|----------|-------|----|----------|
| 普通株式 (株) | 8,236 | 1,854 | — | 10,090 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加1,854株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たりの配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------------------|------------|-------------|
| 平成22年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 37,958 | 5 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月24日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たりの配 当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------|-------------------|------------|-------------|
| 平成23年12月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 37,949 | 利益剰余金 | 5 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月26日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------|-------------------|----------|-----------|---------|--|--------|-----------|-------------------|----------|-----------|---------|-----------|--------|------------|---------|
| <p>※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金預金勘定</td> <td style="text-align: right;">271,230千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期性預金</td> <td style="text-align: right;">△100,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">171,230</td> </tr> </table> | 現金預金勘定 | 271,230千円 | 預入期間が3か月を超える定期性預金 | △100,000 | 現金及び現金同等物 | 171,230 | <p>※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金預金勘定</td> <td style="text-align: right;">978,198千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期性預金</td> <td style="text-align: right;">△120,000</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">858,198</td> </tr> </table> | 現金預金勘定 | 978,198千円 | 預入期間が3か月を超える定期性預金 | △120,000 | 現金及び現金同等物 | 858,198 | | | | |
| 現金預金勘定 | 271,230千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3か月を超える定期性預金 | △100,000 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 171,230 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金預金勘定 | 978,198千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 預入期間が3か月を超える定期性預金 | △120,000 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 858,198 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ————— | <p>※2 当連結会計年度に株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳</p> <p>株式の売却により霧島横川酒造株式会社が連結子会社でなくなったことに伴う売却時の資産及び負債の内訳並びに霧島横川酒造株式会社の株式売却価額と売却による収入は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">211,964千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">93,782</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">74,290</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">220,754</td> </tr> <tr> <td>株式売却益</td> <td style="text-align: right;">222,629</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">株式の売却価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">243,500</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">43,377</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引：売却による収入</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">200,122</td> </tr> </table> | 流動資産 | 211,964千円 | 固定資産 | 93,782 | 流動負債 | 74,290 | 固定負債 | 220,754 | 株式売却益 | 222,629 | 株式の売却価額 | 243,500 | 現金及び現金同等物 | 43,377 | 差引：売却による収入 | 200,122 |
| 流動資産 | 211,964千円 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 固定資産 | 93,782 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流動負債 | 74,290 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 固定負債 | 220,754 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式売却益 | 222,629 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株式の売却価額 | 243,500 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現金及び現金同等物 | 43,377 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 差引：売却による収入 | 200,122 | | | | | | | | | | | | | | | | |

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

| | 建設事業 (千円) | コンクリート 製品事業 (千円) | 食品事業 (千円) | 不動産賃 貸事業 (千円) | 計(千円) | 消去又は全 社(千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------------|--------------|------------------------|--------------|---------------------|-----------|----------------|------------|
| I 売上高及び営業損益 | | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上 高 | 7,834,891 | 1,177,723 | 207,412 | 192,181 | 9,412,209 | — | 9,412,209 |
| (2) セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | 110,588 | 4,855 | 1,071 | 116,514 | (116,514) | — |
| 計 | 7,834,891 | 1,288,311 | 212,267 | 193,253 | 9,528,724 | (116,514) | 9,412,209 |
| 営業費用 | 7,452,901 | 1,232,709 | 289,334 | 149,938 | 9,124,883 | 249,609 | 9,374,492 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | 381,990 | 55,602 | △77,066 | 43,314 | 403,840 | (366,124) | 37,716 |
| II 資産、減価償却費、減損損 失及び資本的支出 | | | | | | | |
| 資産 | 3,914,079 | 1,408,121 | 321,054 | 2,185,683 | 7,828,938 | 3,183,533 | 11,012,472 |
| 減価償却費 | 220,717 | 36,729 | 20,642 | 100,199 | 378,288 | 33,613 | 411,901 |
| 減損損失 | — | — | 216,010 | 332,838 | 548,849 | 221,776 | 770,626 |
| 資本的支出 | 32,705 | 4,178 | 12,793 | — | 49,676 | 33,549 | 83,225 |

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な事業の内容

(1) 事業区分の方法

日本標準産業分類及び連結損益計算書の売上集計区分を勘案して区分しております。

(2) 各区分に属する主要な事業の内容

建設事業 : 土木・建築その他建設工事全般に関する事業及び、不動産の販売に関する事業
 コンクリート製品事業 : コンクリート製品の製造、販売及び型枠の賃貸に関する事業
 食品事業 : 健康食品等の販売及び焼酎等アルコール類の販売に関する事業
 不動産賃貸事業 : 不動産の賃貸に関する事業

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

前連結会計年度 360,487千円

3. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の主なものは、親会社での余資運用資金(現金預金)、長期投資資金(投資有価証券)、管理部門に係る資産等であります。

前連結会計年度 3,584,964千円

4. 資本的支出及び減価償却費には長期前払費用とその償却額が含まれております。

5. 会計処理の方法の変更

(前連結会計年度)

「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 4 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法」に記載のとおり、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)を適用しております。この変更に伴い、コンクリート製品事業において、営業利益が2,671千円減少しております。

「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 4 会計処理基準に関する事項 (5) 重要な収益及び費用の計上基準 完成工事高及び完成原価の計上基準」に記載のとおり、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)が平成21年4月1日より前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、当連結会計年度からこれらの会計基準等を適用しております。これにより、建設事業において、売上高が1,337,449千円、営業利益が158,790千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度（自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日）
日本以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前連結会計年度（自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日）
海外売上高はないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当連結会計年度（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、建設事業及び建設関連事業を中心とした事業を展開しており本社に建設事業、コンクリート製品事業、不動産賃貸事業を管理する部署を置き、連結子会社においては食品事業を管理する部署を置き、包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は事業部門及び子会社を基礎とした製品サービス別のセグメントから構成されており、「建設事業」「コンクリート製品事業」「食品事業」及び「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

「建設事業」は、橋梁工事、基礎工事、建築工事、橋梁補修工事の施工請負等、「コンクリート製品事業」は、コンクリート二次製品の製造販売、型枠販売等、「食品事業」は、焼酎等アルコール類及び健康食品等の販売、「不動産賃貸事業」は不動産の賃貸に関する事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業損益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成21年10月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸 表計上額 (注) 2 |
|------------------------|-----------|--------------------|---------|-------------|-----------|--------------|------------------------|
| | 建設事業 | コンクリ ート製品 事業 | 食品事業 | 不動産賃 貸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,834,891 | 1,177,723 | 207,412 | 192,181 | 9,412,209 | — | 9,412,209 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 110,588 | 4,855 | 1,071 | 116,514 | △116,514 | — |
| 計 | 7,834,891 | 1,288,311 | 212,267 | 193,253 | 9,528,724 | △116,514 | 9,412,209 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 381,990 | 55,602 | △77,066 | 43,314 | 403,840 | △366,124 | 37,716 |
| セグメント資産 | 3,914,079 | 1,408,121 | 321,054 | 2,185,683 | 7,828,938 | 3,183,533 | 11,012,472 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 220,717 | 36,729 | 20,642 | 100,199 | 378,288 | 33,613 | 411,901 |
| 減損損失 | — | — | 216,010 | 332,838 | 548,849 | 221,776 | 770,626 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 32,705 | 4,178 | 12,793 | — | 49,676 | 33,549 | 83,225 |

(注) 1. セグメント利益調整額△366,124千円は、セグメント間取引消去△5,637千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△360,487千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. セグメント資産調整額3,183,533千円は、セグメント間取引消去△401,431千円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,584,964千円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額33,613千円の内容は、橋梁桁架設用機械装置等に係る減価償却費であります。

5. 減損損失の調整額221,776千円の内容は、遊休資産等に係る減損損失であります。

当連結会計年度（自平成22年10月1日 至平成23年9月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸 表計上額 (注) 2 |
|------------------------|-----------|--------------------|---------|-------------|-----------|--------------|------------------------|
| | 建設事業 | コンクリ ート製品 事業 | 食品事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,458,255 | 977,013 | 50,287 | 144,571 | 6,630,128 | — | 6,630,128 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 130,990 | 3,750 | 1,071 | 135,812 | △135,812 | — |
| 計 | 5,458,255 | 1,108,004 | 54,038 | 145,643 | 6,765,940 | △135,812 | 6,630,128 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 529,145 | 35,227 | △15,160 | 35,315 | 584,528 | △374,809 | 209,718 |
| セグメント資産 | 3,334,675 | 1,371,187 | 13,607 | 1,428,677 | 6,148,147 | 3,942,023 | 10,090,171 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 122,123 | 36,030 | 983 | 47,837 | 206,974 | 28,732 | 235,707 |
| 減損損失 | 91,491 | — | — | — | — | — | 91,491 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 42,041 | 4,378 | — | — | 46,419 | 6,222 | 52,641 |

(注) 1. セグメント利益調整額△374,809千円は、セグメント間取引消去12,648千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△387,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

3. セグメント資産調整額3,942,023千円は、セグメント間取引消去△950千円、各報告セグメントに配分していない全社資産3,942,973千円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額28,732千円の内容は、橋梁桁架設用機械装置等に係る減価償却費であります。

(追加情報)

当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

【関連情報】

当連結会計年度（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産はないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称 | 売上高 | 関連するセグメント |
|-------|-----------|-----------|
| 鹿児島県 | 2,327,976 | 建設事業 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | |
|---|----------|---|---------|
| 1株当たり純資産額 | 757円95銭 | 1株当たり純資産額 | 779円68銭 |
| 1株当たり当期純損失(△) | △170円18銭 | 1株当たり当期純利益 | 26円02銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 当期純利益又は当期純損失(△) (千円) | △1,292,039 | 197,550 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円) | △1,292,039 | 197,550 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 7,592 | 7,590 |

(重要な後発事象)

| 前連結会計年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当連結会計年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|--|---|
| <p>当社は、平成22年12月16日に100%子会社であります霧島横川酒造(株)に対し、デッド・エクイティ・スワップを下記のとおり実施いたしました。</p> <p>1. 霧島横川酒造(株)の概要</p> <p>(1) 所在地 鹿児島県霧島市横川町上ノ3280番5</p> <p>(2) 代表者 代表取締役 白石 純孝</p> <p>(3) 資本金 498,000千円</p> <p>(4) 事業内容 酒類の製造、販売</p> <p>2. 実施理由</p> <p>同子会社の有利子負債の削減と資本の充実化による財務内容の改善</p> <p>3. 実施内容</p> <p>同子会社向け貸付金415,000千円の株式化</p> <p>4. その他</p> <p>上記により、同子会社は特定子会社に該当いたしません。</p> | ————— |

(開示の省略)

リース取引関係、有価証券関係、デリバティブ取引関係、退職給付関係、税効果会計関係、企業結合関係、関連当事者情報、金融商品関係、賃貸等不動産関係に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略いたします。

5. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成22年9月30日) | 当事業年度 (平成23年9月30日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 179,284 | 882,333 |
| 受取手形 | 215,551 | 254,391 |
| 完成工事未収入金 | 1,031,469 | 767,170 |
| 売掛金 | 99,141 | 110,497 |
| 製品 | 147,950 | 154,442 |
| 販売用不動産 | 179,068 | 136,329 |
| 未成工事支出金 | ※2 100,161 | ※2 145,159 |
| 仕掛品 | 3,689 | 5,596 |
| 材料貯蔵品 | 30,705 | 36,074 |
| 前払費用 | 5,880 | 3,381 |
| 未収入金 | 37,354 | 28,974 |
| 立替金 | — | 115,272 |
| その他 | 68,109 | 4,468 |
| 貸倒引当金 | △10,591 | △888 |
| 流動資産合計 | 2,087,775 | 2,643,204 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | ※1 4,389,839 | ※1 3,239,490 |
| 減価償却累計額 | △2,888,058 | △1,999,336 |
| 建物(純額) | 1,501,781 | 1,240,154 |
| 構築物 | ※1 680,829 | ※1 434,752 |
| 減価償却累計額 | △551,174 | △349,871 |
| 構築物(純額) | 129,655 | 84,881 |
| 機械及び装置 | ※1 2,956,902 | ※1 2,902,906 |
| 減価償却累計額 | △2,633,660 | △2,653,854 |
| 機械及び装置(純額) | 323,241 | 249,051 |
| 車両運搬具 | 98,833 | 98,833 |
| 減価償却累計額 | △96,279 | △97,493 |
| 車両運搬具(純額) | 2,553 | 1,339 |
| 工具器具・備品 | 869,881 | 882,158 |
| 減価償却累計額 | △825,991 | △853,185 |
| 工具器具・備品(純額) | 43,889 | 28,972 |
| 土地 | ※1 4,942,172 | ※1 4,316,018 |
| 建設仮勘定 | 3,809 | 4,259 |
| 有形固定資産合計 | 6,947,103 | 5,924,676 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 9,014 | 3,232 |
| その他 | 9,610 | 9,567 |
| 無形固定資産合計 | 18,624 | 12,800 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成22年9月30日) | 当事業年度 (平成23年9月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 959,258 | 966,322 |
| 関係会社株式 | 93,270 | 93,270 |
| 出資金 | 7,114 | 7,114 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 4,110 | 2,358 |
| 関係会社長期貸付金 | 400,000 | — |
| 破産更生債権等 | 1,092 | 8,143 |
| 長期前払費用 | 2,481 | 968 |
| 前払年金費用 | 114,815 | 85,815 |
| その他 | 498,838 | 525,620 |
| 貸倒引当金 | △492,332 | △264,683 |
| 投資その他の資産合計 | 1,588,649 | 1,424,929 |
| 固定資産合計 | 8,554,376 | 7,362,406 |
| 資産合計 | 10,642,152 | 10,005,611 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 894,747 | 801,536 |
| 工事未払金 | 449,423 | 299,623 |
| 買掛金 | 66,492 | 102,808 |
| 短期借入金 | ※1 2,040,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | ※1 120,000 | ※1 314,900 |
| 未払金 | 489,237 | 420,670 |
| 未払費用 | 93,758 | 92,884 |
| 未払法人税等 | 20,392 | 20,973 |
| 未払消費税等 | 116,089 | 61,803 |
| 未成工事受入金 | 162,930 | 318,232 |
| 前受金 | 1,461 | 18 |
| 預り金 | 7,794 | 2,080 |
| 完成工事補償引当金 | 3,400 | 5,200 |
| 工事損失引当金 | ※2 14,149 | ※2 18,300 |
| 賞与引当金 | — | 70,551 |
| その他 | 16,455 | 76,775 |
| 流動負債合計 | 4,496,332 | 2,606,359 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | ※1 300,000 | ※1 1,381,485 |
| 繰延税金負債 | 60,156 | 50,828 |
| 資産除去債務 | — | 16,784 |
| その他 | 28,679 | 3,554 |
| 固定負債合計 | 388,835 | 1,452,652 |
| 負債合計 | 4,885,167 | 4,059,011 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成22年9月30日) | 当事業年度 (平成23年9月30日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 資本剰余金合計 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 198,125 | 198,125 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 3,500,000 | 2,500,000 |
| 繰越利益剰余金 | △548,533 | 637,106 |
| 利益剰余金合計 | 3,149,591 | 3,335,231 |
| 自己株式 | △3,008 | △3,243 |
| 株主資本合計 | 5,744,082 | 5,929,487 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,902 | 17,112 |
| 評価・換算差額等合計 | 12,902 | 17,112 |
| 純資産合計 | 5,756,984 | 5,946,600 |
| 負債純資産合計 | 10,642,152 | 10,005,611 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 7,379,267 | 5,088,134 |
| 製品売上高 | 1,166,968 | 973,317 |
| 不動産賃貸収入 | 193,253 | 145,643 |
| 売上高合計 | 8,739,490 | 6,207,095 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | ※2 6,745,939 | ※2 4,305,419 |
| 製品売上原価 | ※1 1,043,929 | ※1 873,074 |
| 不動産賃貸原価 | 148,744 | 109,104 |
| 売上原価合計 | 7,938,613 | 5,287,598 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 633,327 | 782,714 |
| 製品売上総利益 | 123,039 | 100,243 |
| 不動産賃貸総利益 | 44,509 | 36,539 |
| 売上総利益合計 | 800,876 | 919,497 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 50,106 | 46,945 |
| 従業員給料手当 | 269,226 | 223,832 |
| 賞与引当金繰入額 | — | 20,864 |
| 退職給付費用 | 21,722 | 13,248 |
| 法定福利費 | 35,993 | 48,652 |
| 福利厚生費 | 697 | 458 |
| 修繕維持費 | 11,035 | 6,556 |
| 事務用品費 | 20,489 | 20,352 |
| 通信交通費 | 39,868 | 34,413 |
| 動力用水光熱費 | 13,271 | 12,125 |
| 荷造運搬費 | 26,825 | 28,932 |
| 広告宣伝費 | 7,855 | 6,148 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 5,609 |
| 交際費 | 7,967 | 9,513 |
| 寄付金 | 941 | 701 |
| 地代家賃 | 36,538 | 30,825 |
| 減価償却費 | 35,431 | 31,863 |
| 租税公課 | 33,026 | 39,772 |
| 保険料 | 4,341 | 3,503 |
| 雑費 | 91,959 | 107,714 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 707,300 | 692,032 |
| 営業利益 | 93,575 | 227,464 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------|---|---|
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,192 | 1,808 |
| 受取配当金 | 6,581 | 6,738 |
| 受取賃貸料 | ※3 9,783 | ※3 8,498 |
| 作業屑売却収入 | 4,516 | 9,832 |
| 業務受託料 | 4,234 | 1,232 |
| 補助金収入 | — | 22,171 |
| その他 | 7,362 | 4,060 |
| 営業外収益合計 | 39,669 | 54,343 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42,364 | 35,531 |
| 支払保証料 | 3,651 | 4,328 |
| その他 | 7,724 | 5,119 |
| 営業外費用合計 | 53,740 | 44,979 |
| 経常利益 | 79,505 | 236,828 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | ※4 359 | ※4 91,176 |
| 投資有価証券売却益 | — | 228,499 |
| 特別利益合計 | 359 | 319,676 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | ※5 37,512 | ※5 53,182 |
| 減損損失 | ※6 554,615 | ※6 91,491 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 16,709 |
| 投資有価証券評価損 | 68,018 | — |
| 関係会社株式評価損 | 13,499 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | ※7 400,000 | 165,300 |
| 課徴金 | ※8 371,064 | — |
| 特別損失合計 | 1,444,710 | 326,683 |
| 税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△) | △1,364,845 | 229,821 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20,253 | 18,404 |
| 法人税等調整額 | 35,203 | △12,181 |
| 法人税等合計 | 55,456 | 6,222 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,420,302 | 223,598 |

完成工事原価報告書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | |
|------------------|----------|---|----------------|---|----------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| I 材料費 | | 2,126,385 | 31.5 | 1,268,261 | 29.5 |
| II 労務費 | | 142,188 | 2.1 | 156,570 | 3.6 |
| III 外注費 | | 1,962,939 | 29.1 | 1,175,987 | 27.3 |
| IV 経費 (うち人件費) | | 2,368,032 (771,633) | 35.1 (11.4) | 1,594,887 (598,977) | 37.0 (13.9) |
| V 工事振替部材費 | | 146,394 | 2.2 | 109,712 | 2.6 |
| 計 | | 6,745,939 | 100.0 | 4,305,419 | 100.0 |

(注) 1. 原価計算の方法は、実際原価による個別原価計算によっております。

2. 工事振替部材費は請負工事契約に基づく工사용部材を工場で生産した原価であり、製品製造原価から工事原価への振替額のうち完成工事分であります。

製品売上原価明細書

| 区分 | 注記 番号 | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | |
|----------|-----------|---|------------|---|------------|
| | | 金額 (千円) | 構成比 (%) | 金額 (千円) | 構成比 (%) |
| I 材料費 | ※2 | 112,307 | 35.7 | 123,912 | 37.5 |
| II 労務費 | | 57,196 | 18.2 | 63,145 | 19.1 |
| III 外注費 | | 88,826 | 28.2 | 84,189 | 25.5 |
| IV 経費 | | 56,548 | 17.9 | 59,133 | 17.9 |
| 当期総製造費用 | | 314,879 | 100.0 | 330,380 | 100.0 |
| 当期製品仕入高 | | 846,776 | | 672,988 | |
| 期首仕掛品棚卸高 | | 3,828 | | 3,689 | |
| 期首製品棚卸高 | | 133,118 | | 147,950 | |
| 合計 | | 1,298,603 | | 1,155,009 | |
| 期末仕掛品棚卸高 | | 3,689 | | 5,596 | |
| 期末製品棚卸高 | | 147,950 | | 154,442 | |
| 他勘定振替高 | | 110,588 | | 130,990 | |
| 製品売上原価 | | 1,036,375 | | 863,979 | |
| 型枠賃貸原価 | 7,554 | | 9,094 | | |
| 製品等売上原価 | 1,043,929 | | 873,074 | | |

(注) 1. 原価計算の方法は、実際原価による組別総合原価計算によっております。

※2. 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

| 区分 | 前事業年度 (千円) | 当事業年度 (千円) |
|-------|------------|------------|
| 修繕費 | 16,001 | 15,389 |
| 減価償却費 | 35,010 | 33,190 |

※3. 他勘定振替高の内訳は、次のとおりであります。

| 区分 | 前事業年度 (千円) | 当事業年度 (千円) |
|---------|------------|------------|
| 完成工事原価 | 108,061 | 107,186 |
| 未成工事支出金 | 2,526 | 23,804 |
| 合計 | 110,588 | 130,990 |

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,319,000 | 1,319,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 1,278,500 | 1,278,500 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | | |
| 前期末残高 | 198,125 | 198,125 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 198,125 | 198,125 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | | |
| 前期末残高 | 3,500,000 | 3,500,000 |
| 当期変動額 | | |
| 別途積立金の取崩 | — | △1,000,000 |
| 当期変動額合計 | — | △1,000,000 |
| 当期末残高 | 3,500,000 | 2,500,000 |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 909,733 | △548,533 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 別途積立金の取崩 | — | 1,000,000 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,420,302 | 223,598 |
| 当期変動額合計 | △1,458,266 | 1,185,640 |
| 当期末残高 | △548,533 | 637,106 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 4,607,858 | 3,149,591 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 別途積立金の取崩 | — | — |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,420,302 | 223,598 |
| 当期変動額合計 | △1,458,266 | 185,640 |
| 当期末残高 | 3,149,591 | 3,335,231 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 自己株式 | | |
| 前期末残高 | △2,792 | △3,008 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 当期変動額合計 | △216 | △234 |
| 当期末残高 | △3,008 | △3,243 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 7,202,565 | 5,744,082 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,420,302 | 223,598 |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 当期変動額合計 | △1,458,482 | 185,405 |
| 当期末残高 | 5,744,082 | 5,929,487 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 前期末残高 | 19,580 | 12,902 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △6,678 | 4,210 |
| 当期変動額合計 | △6,678 | 4,210 |
| 当期末残高 | 12,902 | 17,112 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 7,222,146 | 5,756,984 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △37,964 | △37,958 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △1,420,302 | 223,598 |
| 自己株式の取得 | △216 | △234 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △6,678 | 4,210 |
| 当期変動額合計 | △1,465,161 | 189,615 |
| 当期末残高 | 5,756,984 | 5,946,600 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 重要な会計方針

| 項目 | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------------|--|---|
| 1. 有価証券の評価基準及び評価方法 | (1) 子会社株式 …移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの …期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております） 時価のないもの …移動平均法による原価法 | (1) 子会社株式 同左 (2) その他有価証券 時価のあるもの 同左 時価のないもの 同左 |
| 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法 | 販売用不動産 …個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 未成工事支出金 …個別法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 製品、仕掛品及び材料 …総平均法による原価法 （貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法） 貯蔵品 …最終仕入原価法 | 販売用不動産 同左 未成工事支出金 同左 製品、仕掛品及び材料 同左 貯蔵品 同左 |
| 3. 固定資産の減価償却の方法 | (1) 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法（但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については定額法）を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 13年～50年 構築物 8年～30年 機械及び装置 7年～12年 車両運搬具 4年～5年 工具器具・備品 3年～7年 (2) 無形固定資産（リース資産を除く） 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。 (3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引の開始日が平成20年9月30日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。 (4) 長期前払費用 均等償却をしております。 | (1) 有形固定資産（リース資産を除く） 同左 (2) 無形固定資産（リース資産を除く） 同左 (3) リース資産 同左 (4) 長期前払費用 同左 |

| 項目 | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------|---|---|
| 4. 引当金の計上基準 | <p>(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 完成工事補償引当金 完成工事のかし担保の費用に備えるため、過去2年以内における完成工事高に対する補修費の割合を基礎に将来の補修費の見込額を加味して計上しております。</p> <p>(3) 工事損失引当金 当事業年度末手持工事のうち損失が見込まれ、かつ、損失額を合理的に見積ることができる工事について、当該損失見積額を計上しております。</p> <p>(5) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 なお、計算の結果、退職給付引当金が借方残高となっているため、「前払年金費用」として貸借対照表の投資その他の資産に計上しております。 過去勤務債務については、5年による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。 (会計方針の変更) 当事業年度から「退職給付に係る会計基準」の一部改正（その3）（企業会計基準第19号 平成20年7月31日）を適用しております。 なお、これによる損益に与える影響はありません。</p> | <p>(1) 貸倒引当金 同左</p> <p>(2) 完成工事補償引当金 同左</p> <p>(3) 工事損失引当金 同左</p> <p>(4) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額に基づき計上しております。</p> <p>(5) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 なお、計算の結果、退職給付引当金が借方残高となっているため、「前払年金費用」として貸借対照表の投資その他の資産に計上しております。 過去勤務債務については、5年による定額法により費用処理しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。</p> |

| 項目 | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 5. 完成工事高及び完成工事原価の計上基準 | <p>当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>但し、平成20年9月30日以前に着手した工事契約のうち、長期大型工事（工期18か月超、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を引き続き適用しております。</p> <p>なお、当事業年度の工事進行基準によった完成工事高は、3,838,286千円であります。</p> | <p>当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>但し、平成20年9月30日以前に着手した工事契約のうち、長期大型工事（工期18か月超、かつ請負金額5億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を引き続き適用しております。</p> <p>なお、当事業年度の工事進行基準によった完成工事高は、3,807,913千円であります。</p> |
| 6. その他財務諸表作成のための重要な事項 | <p>消費税等の会計処理</p> <p>消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。</p> | <p>消費税等の会計処理</p> <p>同左</p> |

(6) 会計処理方法の変更

会計方針の変更

| 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|--|
| | <p>(資産除去債務に関する会計基準の適用)</p> <p>当事業年度より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これにより、当事業年度の営業利益及び経常利益は75千円、税金等調整前四半期純利益は16,784千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は16,709千円であります。</p> |

(7) 表示方法の変更

| 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|--|
| <p>(貸借対照表)</p> <p>前事業年度まで区分掲記しておりました「立替金」は、当事業年度において重要性がなくなったため、流動資産の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>なお、当事業年度における「立替金」の金額は52,599千円であります。</p> <p>(損益計算書)</p> <p>前事業年度まで営業外収益の「その他」に含めておりました「業務受託料」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度における「業務受託料」の金額は、2,374千円であります。</p> | <p>(貸借対照表)</p> <p>前事業年度まで流動資産の「その他」に含めておりました「立替金」は、資産の総額の100分の1を超えたため区分掲記しております。</p> <p>なお、前事業年度における「立替金」の金額は、52,599千円であります。</p> <p>(損益計算書)</p> <p>_____</p> |

(8)注記事項
(貸借対照表関係)

| 前事業年度 (平成22年9月30日) | 当事業年度 (平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|--------------|--------|--|----|-----------|-----|-------|--------|-------|----|-----------|---|-----------|-----------|---------|-------|-----------|---------------|---------|-------|---------|---|-----------|-------------|---------|---------|--|----|--------|-----|-------|--------|-------|----|---------|---|---------|-----|---------|----|-----------|---------|------|---------|--------------|---|---------|--|---|---------|---------|--------|--|----|---------|-----|-------|--------|-------|----|-----------|---|-----------|-----------|---------|---------------|---------|-------|-----------|---|-----------|-------------|---------|---------|--|----|--------|-----|-------|--------|-------|----|---------|---|---------|
| <p>※1 担保資産と担保されている債務は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物</td> <td style="text-align: right;">1,086,571</td> </tr> <tr> <td> 構築物</td> <td style="text-align: right;">1,793</td> </tr> <tr> <td> 機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">4,905</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">2,744,400</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">3,837,669</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保されている債務</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,400,000</td> </tr> <tr> <td>1年内返済予定の長期借入金</td> <td style="text-align: right;">120,000</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">300,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">1,820,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記担保資産のうち工場財団抵当に供されているものは次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工場財団抵当資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大隅、熊本工場</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物</td> <td style="text-align: right;">93,297</td> </tr> <tr> <td> 構築物</td> <td style="text-align: right;">1,793</td> </tr> <tr> <td> 機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">4,905</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">804,404</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">904,400</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、当該工場財団抵当に担保されている債務は個別に対応させることが困難なため、記載しておりません。</p> <p>※2 工事損失引当金 損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金と工事損失引当金は、相殺せず両建てで表示しております。 損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金のうち、工事損失引当金に対応する額は1,100千円であります。</p> <p>3 保証債務 次の関係会社の銀行借入債務等に対し保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">保証先</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> <th style="text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">霧島横川酒造(株)</td> <td style="text-align: right;">239,560</td> <td style="text-align: center;">借入債務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">126,077</td> <td style="text-align: center;">オフバランスのリース債務</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">365,637</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 担保資産の種類 | 金額 (千円) | 有形固定資産 | | 建物 | 1,086,571 | 構築物 | 1,793 | 機械及び装置 | 4,905 | 土地 | 2,744,400 | 計 | 3,837,669 | 担保されている債務 | 金額 (千円) | 短期借入金 | 1,400,000 | 1年内返済予定の長期借入金 | 120,000 | 長期借入金 | 300,000 | 計 | 1,820,000 | 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | 大隅、熊本工場 | | 建物 | 93,297 | 構築物 | 1,793 | 機械及び装置 | 4,905 | 土地 | 804,404 | 計 | 904,400 | 保証先 | 金額 (千円) | 内容 | 霧島横川酒造(株) | 239,560 | 借入債務 | 126,077 | オフバランスのリース債務 | 計 | 365,637 | | <p>※1 担保資産と担保されている債務は次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物</td> <td style="text-align: right;">946,291</td> </tr> <tr> <td> 構築物</td> <td style="text-align: right;">1,545</td> </tr> <tr> <td> 機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">2,452</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">2,465,889</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">3,416,179</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">担保されている債務</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年内返済予定の長期借入金</td> <td style="text-align: right;">314,900</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,381,485</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">1,696,385</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記担保資産のうち工場財団抵当に供されているものは次のとおりであります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工場財団抵当資産の種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大隅、熊本工場</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 建物</td> <td style="text-align: right;">84,711</td> </tr> <tr> <td> 構築物</td> <td style="text-align: right;">1,545</td> </tr> <tr> <td> 機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">2,452</td> </tr> <tr> <td> 土地</td> <td style="text-align: right;">804,404</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">893,113</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、当該工場財団抵当に担保されている債務は個別に対応させることが困難なため、記載しておりません。</p> <p>※2 工事損失引当金 損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金と工事損失引当金は、相殺せず両建てで表示しております。 損失の発生が見込まれる工事契約に係る未成工事支出金のうち、工事損失引当金に対応する額は11,571千円であります。</p> | 担保資産の種類 | 金額 (千円) | 有形固定資産 | | 建物 | 946,291 | 構築物 | 1,545 | 機械及び装置 | 2,452 | 土地 | 2,465,889 | 計 | 3,416,179 | 担保されている債務 | 金額 (千円) | 1年内返済予定の長期借入金 | 314,900 | 長期借入金 | 1,381,485 | 計 | 1,696,385 | 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | 大隅、熊本工場 | | 建物 | 84,711 | 構築物 | 1,545 | 機械及び装置 | 2,452 | 土地 | 804,404 | 計 | 893,113 |
| 担保資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 1,086,571 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 1,793 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械及び装置 | 4,905 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 2,744,400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 3,837,669 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保されている債務 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 短期借入金 | 1,400,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 120,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金 | 300,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,820,000 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大隅、熊本工場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 93,297 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 1,793 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械及び装置 | 4,905 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 804,404 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 904,400 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保証先 | 金額 (千円) | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 霧島横川酒造(株) | 239,560 | 借入債務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 126,077 | オフバランスのリース債務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 365,637 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 946,291 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 1,545 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械及び装置 | 2,452 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 2,465,889 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 3,416,179 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担保されている債務 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 314,900 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期借入金 | 1,381,485 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1,696,385 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工場財団抵当資産の種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大隅、熊本工場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建物 | 84,711 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構築物 | 1,545 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機械及び装置 | 2,452 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土地 | 804,404 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 893,113 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(損益計算書関係)

| 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|---------|---------|-----------|---------|----|---------|----------|------|----|---------|----|---|---|---------|---|----|------|----|---------|--------|------|--------|--------|----|---|---|--------|
| <p>※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、棚卸資産評価損が売上原価に989千円含まれております。</p> <p>※2 完成工事原価に含まれる工事損失引当金繰入額は、6,448千円であります。</p> <p>※3 資材置場等一時的な不動産の賃貸に関する営業目的外のものであります。</p> <p>※4 固定資産売却益の内訳は、車両運搬具売却益359千円であります。</p> <p>※5 固定資産除却損の内訳は、建物除却損26,093千円、機械装置除却損8,982千円ほかであります。</p> <p>※6 減損損失 当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">地域</th> <th style="text-align: center;">主な用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鹿児島県薩摩川内市</td> <td style="text-align: center;">不動産賃貸資産</td> <td style="text-align: center;">建物</td> <td style="text-align: center;">332,838</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鹿児島県鹿児島市</td> <td style="text-align: center;">遊休資産</td> <td style="text-align: center;">土地</td> <td style="text-align: center;">221,776</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">554,615</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、事業の種類別セグメントを基準として、建設事業、コンクリート製品事業、不動産賃貸事業、遊休資産にグループ化し、減損損失の認識を行っております。その結果、事業の見直しに伴い売却計画が決定したことにより薩摩川内市の賃貸事業資産の帳簿価額と回収可能価額との差額332,838千円、鹿児島市の所有土地について不動産開発の長期化により帳簿価額と回収可能価額との差額221,776千円をそれぞれ減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、処分見込価額又は固定資産税評価額に基づき合理的な調整を行って算定した価額によりしております。</p> <p>※7 貸倒引当金繰入額は、関係会社霧島横川酒造(株)への貸付金400,000千円に対するものであります。</p> <p>※8 当社は、平成16年10月15日、公正取引委員会より「国土交通省が関東地方整備局及び近畿地方整備局において発注する橋梁新設工事」の件で、排除勧告をうけ、応諾せずその後審判を受けてまいりましたが、平成22年5月26日、公正取引委員会より審決が送達されました。</p> <p>これを受けて慎重に検討を行った結果、審判の状況ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に判断し、審決を受け入れることとしたため、課徴金139,149千円及び損害賠償金231,915千円の合計371,064千円を特別損失として計上いたしました。</p> | 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 (千円) | 鹿児島県薩摩川内市 | 不動産賃貸資産 | 建物 | 332,838 | 鹿児島県鹿児島市 | 遊休資産 | 土地 | 221,776 | 合計 | — | — | 554,615 | <p>※1 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下げ後の金額であり、棚卸資産評価損が売上原価に769千円含まれております。</p> <p>※2 完成工事原価に含まれる工事損失引当金繰入額は、13,004千円であります。</p> <p>※3 同左</p> <p>※4 固定資産売却益の内訳は、土地売却益91,176千円あります。</p> <p>※5 固定資産除却損の内訳は、建物除却損41,882千円、構築物除却損7,934千円ほかであります。</p> <p>※6 減損損失 当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">地域</th> <th style="text-align: center;">主な用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">熊本県熊本市</td> <td style="text-align: center;">建設事業</td> <td style="text-align: center;">土地、建物等</td> <td style="text-align: center;">91,491</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">91,491</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、事業セグメントを基準として、建設事業、コンクリート製品事業、不動産賃貸事業、遊休資産にグループ化し、減損損失の認識を行っております。その結果、熊本県熊本市内の建設事業資産について利用方法の見直しを行ったことにより帳簿価額と回収可能価額との差額91,491千円を減損損失として特別損失に計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、処分見込価額又は固定資産税評価額に基づき合理的な調整を行って算定した価額によりしております。</p> | 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 (千円) | 熊本県熊本市 | 建設事業 | 土地、建物等 | 91,491 | 合計 | — | — | 91,491 |
| 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島県薩摩川内市 | 不動産賃貸資産 | 建物 | 332,838 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島県鹿児島市 | 遊休資産 | 土地 | 221,776 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | — | — | 554,615 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域 | 主な用途 | 種類 | 金額 (千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊本県熊本市 | 建設事業 | 土地、建物等 | 91,491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | — | — | 91,491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 前事業年度末 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|---------|--------|-------|----|--------|
| 普通株式(株) | 7,088 | 1,148 | — | 8,236 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加1,148株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 前事業年度末 | 増加 | 減少 | 当事業年度末 |
|---------|--------|-------|----|--------|
| 普通株式(株) | 8,236 | 1,854 | — | 10,090 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加1,854株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

(1株当たり情報)

| 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | |
|---|----------|---|---------|
| 1株当たり純資産額 | 758円32銭 | 1株当たり純資産額 | 783円48銭 |
| 1株当たり当期純損失(△) | △187円07銭 | 1株当たり当期純利益 | 29円45銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 当期純利益又は当期純損失(△) (千円) | △1,420,302 | 223,598 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円) | △1,420,302 | 223,598 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 7,592 | 7,590 |

(重要な後発事象)

| 前事業年度 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 当事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) |
|---|---|
| <p>当社は、平成22年12月16日に100%子会社であります霧島横川酒造(株)に対し、デッド・エクイティ・スワップを下記のとおり実施いたしました。</p> <p>1. 霧島横川酒造(株)の概要</p> <p>(1) 所在地 鹿児島県霧島市横川町上ノ3280番5</p> <p>(2) 代表者 代表取締役 白石 純孝</p> <p>(3) 資本金 498,000千円</p> <p>(4) 事業内容 酒類の製造、販売</p> <p>2. 実施理由</p> <p>同子会社の有利子負債の削減と資本の充実化による財務内容の改善</p> <p>3. 実施内容</p> <p>同子会社向け貸付金415,000千円の株式化</p> <p>4. その他</p> <p>上記により、同子会社は特定子会社に該当いたします。</p> | <p>—————</p> |

6. その他

(1) 役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。

(2) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 単位 | 製品生産量 | 前期比 (%) |
|----------------|----|--------|---------|
| 建設事業 | — | — | — |
| コンクリート製品事業 | t | 10,043 | △4.2 |
| 食品事業 | ℓ | 29,083 | △79.9 |
| 不動産賃貸事業 | — | — | — |

(注) 1. 当社グループのコンクリート製品事業及び食品事業では、生産実績を金額で表示することが困難であります。したがって、コンクリート二次製品の製造は製品生産重量をもって、また酒類の製造は製品生産容量をもって生産実績としております。

2. 食品事業を営んできた霧島横川酒造株式会社は、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 受注高 (千円) | 前期比 (%) |
|----------------|-----------|---------|
| 建設事業 | 5,011,995 | △3.7 |
| コンクリート製品事業 | 796,733 | △30.8 |
| 食品事業 | — | — |
| 不動産賃貸事業 | — | — |
| 合計 | 5,808,728 | △8.6 |

(3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 金額 (千円) | 前期比 (%) |
|----------------|-----------|---------|
| 建設事業 | 5,458,255 | △30.3 |
| コンクリート製品事業 | 977,014 | △17.0 |
| 食品事業 | 50,287 | △75.8 |
| 不動産賃貸事業 | 144,571 | △24.8 |
| 合計 | 6,630,128 | △29.6 |

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 食品事業を営んできた霧島横川酒造株式会社は、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. 主な相手先別の販売実績と総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

| 前連結会計年度 | | | 当連結会計年度 | | |
|---------|-----------|--------|---------|-----------|--------|
| 相手先 | 金額 (千円) | 割合 (%) | 相手先 | 金額 (千円) | 割合 (%) |
| 鹿児島県 | 1,920,621 | 20.4 | 鹿児島県 | 2,327,976 | 35.1 |
| 国土交通省 | 833,790 | 8.9 | 国土交通省 | 372,128 | 5.6 |

なお、参考のため提出会社個別の事業の状況は次のとおりであります。

① 受注高、売上高、繰越高及び施工高

第52期（自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日）

| 種別 | 前期繰越高 (千円) | 当期受注高 (千円) | 計 (千円) | 当期売上高 (千円) | 次期繰越高 | | | 当期施工高 (千円) |
|----------------|---------------|---------------|------------|---------------|-------------|------------|---------|---------------|
| | | | | | 手持高 (千円) | うち施工高 (千円) | | |
| 建設事業 | | | | | | % | | |
| 橋梁工事 | 4,754,587 | 4,252,368 | 9,006,956 | 6,719,571 | 2,287,385 | 2.0 | 45,810 | 5,632,616 |
| 基礎工事 | 59,990 | 531,938 | 591,928 | 515,048 | 76,880 | 60.8 | 46,764 | 545,657 |
| 建築工事 | 119,150 | 72,357 | 191,507 | 144,647 | 46,860 | 23.7 | 11,100 | 109,099 |
| 計 | 4,933,727 | 4,856,665 | 9,790,392 | 7,379,267 | 2,411,125 | 4.3 | 103,674 | 6,287,374 |
| コンクリート製品 事業 | | | | | | | | |
| 製品販売 | 189,636 | 1,118,904 | 1,308,541 | 1,147,090 | 161,450 | — | — | — |
| 型枠賃貸 | 1,747 | 22,233 | 23,981 | 19,878 | 4,102 | — | — | — |
| 計 | 191,383 | 1,141,138 | 1,332,522 | 1,166,968 | 165,553 | — | — | — |
| 不動産賃貸事業 | — | — | — | 193,253 | — | — | — | — |
| 合計 | 5,125,111 | 5,997,804 | 11,122,915 | 8,739,490 | 2,576,678 | — | 103,674 | 6,287,374 |

第53期（自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日）

| 種別 | 前期繰越高 (千円) | 当期受注高 (千円) | 計 (千円) | 当期売上高 (千円) | 次期繰越高 | | | 当期施工高 (千円) |
|----------------|---------------|---------------|-----------|---------------|-------------|------------|--------|---------------|
| | | | | | 手持高 (千円) | うち施工高 (千円) | | |
| 建設事業 | | | | | | % | | |
| 橋梁工事 | 2,287,385 | 4,105,576 | 6,392,961 | 4,549,694 | 1,843,267 | 0.8 | 15,479 | 4,519,363 |
| 基礎工事 | 76,880 | 461,366 | 538,246 | 484,996 | 53,250 | 22.0 | 11,715 | 449,947 |
| 建築工事 | 46,860 | 63,784 | 110,644 | 53,444 | 57,200 | 5.8 | 3,310 | 45,654 |
| 計 | 2,411,125 | 4,630,727 | 7,041,852 | 5,088,134 | 1,953,717 | 1.6 | 30,504 | 5,014,964 |
| コンクリート製品 事業 | | | | | | | | |
| 製品販売 | 161,450 | 939,367 | 1,100,818 | 945,654 | 155,164 | — | — | — |
| 型枠賃貸 | 4,102 | 23,560 | 27,663 | 27,663 | — | — | — | — |
| 計 | 165,553 | 962,928 | 1,128,481 | 973,317 | 155,164 | — | — | — |
| 不動産賃貸事業 | — | — | — | 145,643 | — | — | — | — |
| 合計 | 2,576,678 | 5,593,655 | 8,170,334 | 6,207,095 | 2,108,882 | — | 30,504 | 5,014,964 |

- (注) 1. 前期以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当期受注高にその増減高が含まれております。
2. 次期繰越高の施工高は支出金により手持工事高の施工高を推定したものであります。
3. 当期施工高は受注金額×進捗度によって算出しており、(当期売上高+次期繰越高施工高-前期繰越高施工高)に一致します。
4. コンクリート製品事業の次期繰越高のうち施工高及び当期施工高は、受注生産と見込生産を併用しているため計数は把握できておりません。
5. 食品事業については、当社で事業を行っておりませんので、事業区分の記載は省略しております。

② 受注工事高の受注方法別比率

工事の受注方法は、特命と競争に大別されます。

| 期別 | 区分 | 特命 (%) | 競争 (%) | 合計 (%) |
|--|------|--------|--------|--------|
| 第52期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 橋梁工事 | 9.9 | 90.1 | 100.0 |
| | 基礎工事 | 100.0 | — | 100.0 |
| | 建築工事 | 100.0 | — | 100.0 |
| 第53期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | 橋梁工事 | 16.3 | 83.7 | 100.0 |
| | 基礎工事 | 100.0 | — | 100.0 |
| | 建築工事 | 100.0 | — | 100.0 |

(注) 百分比は、請負金額比であります。

③ 完成工事高

| 期別 | 区分 | 官公庁 (千円) | 民間 (千円) | 合計 (千円) |
|--|------|-----------|-----------|-----------|
| 第52期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) | 橋梁工事 | 6,001,273 | 718,297 | 6,719,571 |
| | 基礎工事 | — | 515,048 | 515,048 |
| | 建築工事 | 29,500 | 115,147 | 144,647 |
| | 計 | 6,030,773 | 1,348,494 | 7,379,267 |
| 第53期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日) | 橋梁工事 | 3,803,372 | 746,321 | 4,549,694 |
| | 基礎工事 | — | 484,996 | 484,996 |
| | 建築工事 | — | 53,444 | 53,444 |
| | 計 | 3,803,372 | 1,272,086 | 5,088,134 |

(注) 1. 完成工事のうち主なものは、次のとおりであります。

第52期 請負金額3億円以上の主なもの

中国地方整備局 尾道・松江自動車道六ツ宗川橋PC上部工事
 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線(鹿児島)、古閑橋りょう外1箇所(PCけた)
 名古屋高速道路公社 県道高速名古屋新宝線 竜宮工区PC上部工事
 沖縄県 伊良部大橋橋梁整備第3期工事(上部工その2)
 厚木市 平成20年度中津川左岸堤防道路整備工事(橋りょう上部工)

第53期 請負金額3億円以上の主なもの

鹿児島県 県単道路整備(交付金)工事(曾木大橋)
 鹿児島市 高麗通線道路築造工事(その20)
 鹿児島市 武武岡線道路築造工事(その11)
 NEXCO中日本 第二東名高速道路 浜北高架橋(PC上部工)西上り工事

2. 完成工事高総額に対する割合が100分の10以上の相手先別の完成工事高及びその割合は、次のとおりであります。

| 第52期 | | | 第53期 | | |
|-------|---------------|---------------------------|------|---------------|---------------------------|
| 相手先 | 完成工事高 (千円) | 完成工事高総 額に対する割 合 (%) | 相手先 | 完成工事高 (千円) | 完成工事高総 額に対する割 合 (%) |
| 鹿児島県 | 1,702,962 | 23.2 | 鹿児島県 | 2,182,937 | 42.9 |
| 国土交通省 | 833,790 | 11.4 | | | |

④ 手持工事高 (平成23年9月30日現在)

| 区分 | 官公庁 (千円) | 民間 (千円) | 合計 (千円) |
|------|-----------|---------|-----------|
| 橋梁工事 | 1,721,868 | 121,399 | 1,843,267 |
| 基礎工事 | — | 53,250 | 53,250 |
| 建築工事 | — | 57,200 | 57,200 |
| 計 | 1,721,868 | 231,849 | 1,953,717 |

(注) 手持工事のうち請負金額3億円以上の主なものは、次のとおりであります。

| | | |
|------|----------------------------|-------------|
| 鹿児島県 | 街路工事 (東餅田21-1工区) | 平成24年1月完成予定 |
| 鹿児島県 | 県単道路整備 (交付金) 工事 (有川22-1工区) | 平成24年3月完成予定 |